

第3回我孫子市資源化施設整備運営方式等検討委員会会議録（要旨）

1 開催日時 令和7年2月18日（月）午前9時30分から午前11時00分

2 開催場所 我孫子市役所議会棟議長応接室

3 出席者 （出席委員）

渡辺委員長（副市長）、高見澤委員（企画総務部長）、中光委員（財政部長）、
山本委員（環境経済部長）、篠崎委員（建設部長）、中場委員（都市部長）
（事務局）

環境経済部手賀沼課 嶋田課長、野村副参事、小嶋室長補佐、海老原主査、
北澤主事

国際航業株式会社 森田、伊藤、齋藤

4 議題 （1）事業方式の評価
（2）事業実施にあたっての課題と対策
（3）総評

5 その他

6 公開・非公開の別 非公開

7 傍聴人 0人

8 議事要旨

事務局：ただ今から、第3回我孫子市資源化施設整備運営方式等検討委員会を開会いたします。本日の進行を務めさせていただきます、手賀沼課資源循環推進室の野村と申します。議事は設置要綱第6条に従い委員長に進行をお願いします。

渡辺委員長：本日の出席者は6人であり、2分の1以上出席しておりますので、我孫子市資源化施設整備運営方式等検討委員会設置要綱第6条第2項の規定により、我孫子市資源化施設整備運営方式等検討委員会は成立します。議事に入る前に前回の質疑事項等への回答を事務局より説明をお願いします。

事務局：-----（説明）-----

委員長：ありがとうございました。事務局より説明がありました件に関して、委員の皆様質問等ありましたらご発言をよろしくお願いします。

委員長：参考資料の地方債の部分ですが、地方債の元利償還で利息については想定利率を何%で設定していますか。

事務局 :そこは確認していませんでした。
(委員会後確認：利率 1.4000%と訂正します。)

委員長 :そこは確認して下さい。あと、②現状のまま赤字の下にある資源化施設維持管理の令和 2 年度～令和 6 年度の推移で 6～7 千万円という数字がありますが、この数字は②現状のままの運営費用、2 億 8,106 万 7 千円の中に入っていますか。

事務局 :入っています。①の表の下の運営費用のところにも記載してあります。

委員長 :2 億 8,106 万 7 千円でみているのは、令和 2 年度～6 年度の平均値ということでしょうか。また、この中に維持管理の修繕費も入っていますか。

事務局 :入っています。

委員長 :修繕費はその内のどれくらいとみていますか。

事務局 :維持管理費自体は今年度の見込みでは 3,400 万円くらいで、例年 3,000 万円以上は施設修繕にかかります。

委員長 :運営費の 2 億 8,106 万 7 千円の中でいくぐらいになりますか。

事務局 :3,400 万円くらいです。

委員長 :ということは令和 2 年度～6 年度の実績の倍程度ということでしょうか。1 年 1 億 6100 万円というのは最低ラインなので、ここが増えれば差額が減るということでしょうか。

事務局 :②の運営費がこのままずっと同じかというと、当然変わると考えています。

委員長 :3,000 万と見ているということは、令和 6 年度でいえばここから 4,000 万くらい落ちる可能性もあるのでしょうか。

事務局 :回収資源売払いも同額で見ているので、新しい施設で資源化設備のラインを整えばより回収資源としての価値が上がるので反映できます。また、現状のままでも適切な分別ができなければ買取額が下がるということも考えられます。

委員長 :現状よりも 1 億 6,100 万は増えるというところで、これよりも増えるというより、減る可能性もあるということですね。

事務局 :あくまでも推計上ですが、そうなります。

委員長 :わかりました。他はいかがでしょうか。

高見澤委員 :概算金額でそのまま施設整備更新なしとすると、全部で 16 億 5 千万円かかるという認識でいいかと思いますが、令和 31 年まで更新整備だけを繰り返して、部品がないとか、設備がダメになるなどのリスクはないのですか。
メーカーの方で、施設整備を更新しなくても現状のままで直していけば、20～25 年は使えるというお墨付きはあるのですか。

事務局 :いただいた見積りでは 15 年間の保証で出していただいたものですので、15 年後には何らかの整備費用を見込まなければならないとは思いますが、あくまでも設備更新だけで躯体等は伴っていない費用となっています。中の設備を入れ替えることによって何とか対応するということで、土台となる躯体がくずれてしまうとどうしようもなくなるということが想定されるので、その金額はここには含まれていません。もし入れ替えるとなれば、別の場所に移したりという作

業が出てきます。

高見澤委員：躯体がしっかりしていれば、部品交換や点検整備で 15 年は持ちますという回答をいただいたということですね。

事務局：はい、そうです。補足ですが、参考資料の一番下の欄外の①から④まで収支差額比較表を作成している中で、今の粗大ごみ処理施設の更新だけは 16 億 5 千万円と出ています。一方でプラントメーカー4社に見積りを取り、そのうちの3社の平均が 88 億 3 千万円となりますが、内訳を基にフルスペックから対象設備を少し下げて違う処理設備とする金額となるともう少しかかりそうです。たとえば、破碎機だけでも隣の敷地に作って盛土をしたり、排水整備などそれ以外の整備が必要となるので、改めて試算すると違う金額になると思います。（それも内訳からみた金額なので、）改めてこのスペックで見積りを取り直せば、違う金額になると思われます。あくまで試算だけの話しですので、そこはご了承くださいたいと思います。

委員長：他はいかがでしょうか。

中場委員：事前に頂いていた資料では、今ある粗大ごみ処理施設のみを整備した場合の金額があったのですが、この資料から抜いてしまった理由は何ですか？

事務局：今言いました 16 億 5 千万円に加えて、令和 4 年度に検討した結果から試算した結果を踏まえ 20 億円と記載していましたが、プラントメーカーが出しているフルスペックの中からあらためて破碎機だけを整備したパターンと比較すると、30 億～40 億円かかりそうだとということです。ただし、この金額も内訳から取り出したものなので、参考にしかないかと思いますが、前回記載した 20 億円という金額の信憑性が乏しいと考え、今回はフルスペックの場合と今のままでの比較で出させていただきました。

中場委員：フルスペックで 97 億で、いまある施設だけ、不燃と粗大ごみ処理施設だけを整備するとかかなり安くなると、その他のプラスチック、ビン、缶、剪定枝木の処理施設を今まで通りにやるということはどうですか。フルスペックにする必要があるかということが議論の対象になるかと思います。フルスペックにする必要性は、2 か年で 60 億円違ってくるとなると議論の対象になるのではないのでしょうか。そもそも論になりますが、フルスペックにする必要はあるのでしょうか。

事務局：この検討委員会ではなく、理事者との協議では説明をさせて頂くのですが、すべての施設で老朽化が進んでいて、故障等の事故リスクを抱えたままというのは当然あると思います。また、細かい話ですが、プラスチック中間処理施設を新たに整備して製品プラスチックを分別、処理をする計画となっていますが、法律に則り製品プラスチックの分別処理が交付金の必須条件となっています。可能であればプラスチック中間処理施設とセットで整備することで交付金の条件を満たすことになります。それも、破碎機だけを先に整備して、そのあとの交付金をもらう時の地域計画でプラスチック中間処理施設を整備するという計画も可能性としてありますので、そのあたりのパターン比較は、事業費とともにメリット・デメリット、課題を整理して協議を進めていきたいと思っています。

す。

中場委員 : 今ある施設ではないところでもプラスチック・びん・缶・剪定枝木の各種施設は委託して処理可能と考えてよいですか？

事務局 : 現在は空き瓶の処理に関しては旧クリーンセンターの施設で、我々で整備したビンのベルトコンベアを使用して、福祉作業所の方に手作業で屋外で作業をしてもらっています。非常に過酷な状況で、あくまでも暫定作業としてお願いしています。それは3色に分別できていませんし、異物除去だけをして場外に搬出して資源化しています。3色をベルトコンベアで分別して異物を除去すれば、容器包装リサイクル協会から入札で落とした事業者が資源化の処理をしてくれますが、その費用も数十万円とか百万程度で処理費用が済み、財源的なコストが削減されるというメリットもあります。このまま危険な作業をお願いし続けるのではなく、新しく整備した方が良いのではと考えています。

また、缶については、1社のみをお願いしている状況ですので、1社のみ委託し続けるリスク等も踏まえ、自前の施設を整備したいと考えています。

剪定枝木については現在検討中ですが、チップ化ではなく、場内での積替え保管だけにしていますので、場内で手配できればと考えています。ですので、ビン、缶については場外で委託できてはいますが、そういった課題があることをご了承いただきたいと思います。

委員長 : 他いかがでしょうか。ないようですので議事に入りたいと思います。(1) 事業方式の評価、(2) 事業実施にあたっての課題と対策について事務局より説明をお願いします。

事務局 : 説明は国際航業をお願いしたいと思います。

国際航業 : ----- (説明) -----

委員長 : ありがとうございます。事務局より説明がありました件に関して、委員の皆様質問等ありましたらご発言をよろしくお願いします。

篠崎委員 : 表4の事業スケジュールですが、前にいただいた資料では、上の二つの表の運営開始はもう1年早くなかったでしょうか。

事務局 : 2つ目のDB+O方式では1年早まっていました。

篠崎委員 : 令和11年度の頭に運営開始でしたよね。準備期間に2年かかるということは、運営の方は本来、間に入札公告を入れているはずなので、同じく2年という考え方なのですか。

事務局 : はい、そうです。一旦送ってしまったもので説明が不足して申し訳ありませんでした。DB+O方式、DBだけの業者を選ぶにあたって、総合評価型の一般競争入札を予定していますので、期間としては2年かかるかと考えます。そのあと、運営業務を決めるにあたって同じようなスケジュール感になりますので、基本的にはDBO方式と同じような形での運営期間の開始を予定していますので、修正いたしました。

篠崎委員 : ありがとうございました。

委員長 : 他はいかがでしょうか

中光委員 : 総評のところで、最後に公共が管理することという記載がありますが、どの方式を選択するかによって、公共が管理する人件費がどのくらいかかるかわ変わってくると思いますので、最終的には広い範囲での費用対効果の検証が必要だと思いますので、留意していただければと思います。

事務局 : はい、わかりました。

委員長 : 他はいかがでしょうか。

篠崎委員 : 総評の下から 2 番目についてですが、DBO でなくても発注支援業務は他の方式にも該当する内容なのか、それとも DBO だから複雑な選定方式が生まれるのか、PFI 方式や DB+O 方式でも複雑な選定方式が生まれるのか、その区分けはどうなっているのですか。

国際航業 : 基本的には今回の場合、総合評価になると思います。総合評価やプロポーザルですと、事業者選定委員会を設置して事業者の選定基準を作成し、入札資料などをそろえていかなければならないので、いずれの方式でも必要になってくると想定されます。

他の事例ですが、事前審査型の一般競争入札を採用している事例が多くあります。DB+単年度方式や DB+O 方式の場合は従来型で建設工事の発注仕様書だけをまず作り、それを入札にかけるといふかたちになります。ですので、総合評価をする場合よりは期間を縮減できますが、我孫子市の場合は総合評価を行うことになりますので、そうした業務をする期間も必要になってくることを想定しています。

国際航業 : 補足しますと、DB の性能発注でごみ処理施設は行いますが、契約書自体は通常の工事請負約款でされています。DBO や PFI 方式の場合は、別途契約書の作成という手続きが出てきまして、我々から弁護士に契約書の作成を委託するというかたちで、業務を受けさせていただいていますので、契約書を作成するところでは単年度委託や DB だけとは大きく違うと思います。

篠崎委員 : ありがとうございました。すべての場合についてアドバイザーを入れるわけではなくて、施工の契約関係についてのアドバイザーで市の負担が軽減されるということですか。

国際航業 : そうですね、当然発注仕様書も専門的なものなので、DB であっても通常コンサルを入れますし、DB+O でも PFI 方式でも基本的に専門コンサルに委託することは発生します。ただ、業務ボリュームが違ってきます。

篠崎委員 : 分かりました。ありがとうございます。

事務局 : 今の問題で、市の支出負担は増えますので、そこは事務負担ということに変えたうえで、これを総評に乗せるべきかどうか改めて検討します。

委員長 : 他はいかがでしょうか。ないようですので、これまでの意見をまとめます。議題につきましては、事務局からの説明のとおりですが、基本はフルスペック

ということで審議をいただきました。最終的には理事者協議を経て整備範囲をどうしていくか検討するということにはなりますが、今日の議題に関しては、基本的に事務局からの説明とおりで、意義なしということによろしいでしょうか。

委員 : 異議なし

委員長 : 異議なしとのことですので(1)事業方式の評価、(2)事業実施に当たった課題と対策、(3)総評、こちらにつきましては事務局からの説明のとおりということにしたいと思います。ただ、本日の会議で委員の皆様から頂いた意見につきましては、十分踏まえて事業を進めていただきたくお願いします。それでは、議題についての審議は以上で終了させていただきます。進行を事務局に戻したいと思います。ありがとうございました。

事務局 : ありがとうございました。本日いただきましたご意見ご質問等をしっかり受け止めまして事業を進めて参ります。第2回我孫子市資源化施設整備運営方式等検討委員会の議事録につきましては2/13付で委員の皆様にもメールにて送信させていただきましたところ。修正等ございましたら2/21を目途に事務局までご連絡いただければと思います。また、本日の議事録につきましては、今月末を目途に委員の皆様にも送付させていただきます。

本日の会議を持ちまして、本検討委員会は終了となります。今後この内容を理事者に報告し、併せて、運営方式等検討結果及び議事録は今後市のホームページにおいて公開をまいります。以上をもちまして、本日の第3回我孫子市資源化施設整備運営方式等検討委員会を閉会します。ありがとうございました。

以上